

「肝がん地域連携パス」にご協力いただける先生へ

1. 対象患者について

肝がん連携パスの対象患者さんは、原則として以下のすべてを満たす方としています。

- ・ 肝がん治療後
- ・ 肝機能不良例(Child C)を除く
- ・ 告知済み
- ・ 初発・再発は問いません。

2. 診療していただく時期

退院後、できるだけ早い時期に。(退院後、数日から2週間以内)

3. かかりつけ医の先生の診療時

初回診療時には、患者さんに以下のものを持参していただきます。

- ・ 肝がん連携パス(医療者向け)・診療情報提供書・その他の資料

診療時には血液検査(月に1回以上)と投薬、また必要な場合は注射もお願いします。

血液検査の項目は連携パスに記載の項目を含むようお願いいたします。

なお、患者さんには「連携パス手帳」(肝がん用)を渡しております。心配なことがあれば、かかりつけ医の先生に相談するように伝えておりますので、よろしく願い申し上げます。

4. 専門病院受診の前に

可能でしたら、大阪医科大学附属病院定期受診(3ヶ月毎)の前の診療時に診療情報提供書を記載していただき、患者さんに渡してください。

5. バリエーションと対処法

バリエーション	対処法
再発が疑われるとき (腫瘍マーカーの持続的上昇)	2週間以内をめどに大阪医科大学附属病院を受診
腹水のコントロール不良	利尿剤の増量でもコントロール困難な場合はかかりつけ医を受診
肝性脳症	救急病院か、かかりつけ医から大阪医科大学附属病院救急外来へ紹介してもらってください。
吐血・下血	救急病院か、かかりつけ医から大阪医科大学附属病院救急外来へ紹介してもらってください。

6. その他

- ・ 投薬につきましては、基本的にかかりつけ医の先生にお願いしています。